

子も親も 一緒に成長



山形市での自主避難生活から福島に帰る決意に戸惑う中、避難者支援の知り合いから「たけの子なら福島に帰っても安心して子育てが出来る。同じ考えを持つママがいるよ。」と教えていただき、ご縁が繋がりました。主人とは認可保育園、認可外保育園との違いで正直喧嘩になることもありましたが、私の中ではたけの子に息子を預けることを決めていました。登園当初は虫が大嫌いで見るのも触るのも嫌な



息子が、あつという間に虫が触れるようになり、自宅でカブトムシを飼うことになりました。木登りもすぐく上達して、毎回自慢気に見せてくれた姿は印象的です。

夏は川で日焼け、冬は雪焼けて一年中真っ黒で



自然からたくさんさんのエネルギーをいただいた息子は、お手伝い大好きで「ママのためならなんでも出来る」と自然に家事を手伝ってくれるようになりました。



私自身も保育者や保護者の方との関わりで成長してきたのかなと思います。営業職をしています。自分から話すのが大の苦手で聞く専門のように聞き役が多かったのですが、仕事でもプライベートでも自分から発言する機会が増え、本当にありがたい学びの場だったなと思います。

そして、これからもたけの子と繋がっていききたいです。

卒園児保護者 亀岡美穂